

緊急要請事項

札幌市長 秋元 克広
(一社) 札幌市医師会 会長 松家 治道
(特非) 北海道病院協会 理事長 中村 博彦
(公社) 全日本病院協会 北海道支部 支部長 徳田 禎久
(一社) 日本病院会 北海道ブロック支部 支部長 田中 繁道
(一社) 日本社会医療法人協議会 北海道支部 支部長 西澤 寛俊

新型コロナウイルス感染症患者の患者増加に伴い、札幌市内における陽性患者等の入院受入体制が危機的な状況にあることから、医療機関の皆様方に、以下のとおり、緊急要請を行います。

1. 自院における陽性患者発生時の入院体制の確保

自院において、入院が必要な患者の陽性が判明した場合に備え、継続して入院対応が可能な体制を整備すること。

2. 入院受入体制のさらなる拡充

医療機関全体で新型コロナウイルス感染症対策を支える必要があることから、各医療機関において、以下のいずれかの役割を担うことが可能となるよう準備すること。

- ① 陽性患者の入院受入（特に要介護等の高齢患者の入院受入）
- ② 退院基準を満たした高齢者等の入院受入（後方支援病院）
- ③ 入院受入病院やクラスター発生施設等に対する人的支援

3. 発熱患者等の救急対応

発熱患者や高齢者施設の入居者等について、救急搬送の受入までに時間を要する事例が多発していることから、受入拒否をすることなく、適切に受入対応を行うこと。